

議会だより ふだい

議会と皆さんをつなぐ情報誌



祝 大人への船出!!

令和8年1月5日、管理センターにて二十歳の集いが開催されました。対象者15名中13名が出席し、家族や恩師に見守られつつ、これからの人生に思いを馳せていました。

主な内容

- 物価高対応子育て応援手当（12月定例会）…… 2～3P
- なすび氏も参加（新年交賀会）…… 4P
- 空き校舎の利活用は（一般質問）…… 6～9P
- くろさき荘が絶景部門1位に！…… 11P
- 未来予想図 …… 12P

12月定例会

物価高対応子育て応援手当など 8,882万円を増額!

一般会計補正予算

総務費

△普代村役場太陽光発電システム蓄電池交換工事 715万円増

質問 今度購入する蓄電池は劣化の状況がわかるものか。故障した際の保険には入っているのか。今後のチェック体制はどうなるのか。
回答 整備後は劣化状況についての確認作業を定期的に実施する。施設自体の保険には入っているが、機械までは含まれていない。今後は管理をしつつ、各



施設での必要性の有無も検討したい。

△AI・RPAシステム利用料 36万円増

質問 どの分野に活用しているのか。また、これにより働き方改革などにつながっているか。
回答 今回の補正では、試験運用している生成AIを正式に利用するもの。議事録作成や企画の立案、簡単な文書作成などができ、職員の負担軽減につながる。

△LED防犯灯・街路灯整備工事 54万円増

質問 防犯灯14基の通学路設置場所は決定しているか。工事はいつから始まるのか。
回答 義務教育学校への道路や生徒がいる家庭などを

中心に設置予定。補正後すぐに着手し、年度内の完了予定。

民生費

△物価高対応子育て応援手当 466万円増

2万円×233人

△地域サロン活動支援助成金 3万円増

質問 地域サロン活動支援助成金は地区のサロンのことか、包括支援センターでの活動のことか。
回答 地区の交流サロンへの助成金である。

農林水産業費

△普代村有害鳥獣対策実施隊報償金 45万円増

△普代村有害鳥獣駆除報奨金 80万円増



質問 今年度と前年度の熊の目撃情報はどうか。また、

熊の撃退スプレー購入に対する補助は検討していないか。
回答 前年度が13件、今年度は34件であり、約3倍の目撃情報となる。撃退スプレーの購入助成はまだ検討していない。

質問 緊急銃猟を行う捕獲者の免許保持者は何名か。また緊急銃猟のマニュアル作成の進捗状況は。
回答 免許を持っている方は9名。緊急銃猟のマニュアル作成は、現在情報収集しながら、久慈警察署や県北広域振興局と協議をしながら進めている。

質問 緊急銃猟のマニュアル作成の進捗状況は。
回答 免許を持っている方は9名。緊急銃猟のマニュアル作成は、現在情報収集しながら、久慈警察署や県北広域振興局と協議をしながら進めている。

から進めている。

質問 12月8日現在でシカが210頭、イノシシが16頭の駆除とのことだが、これはただ廃棄処分しているのか。ジビエなどには活用できないか。
回答 今は廃棄処分している。ジビエの活用は、様々な条件等があり非常に難しい。

教育費

△学校用地購入費 347万円増

質問 学校用地購入の目的は。
回答 白井地区からの通学路の確保、村民と地域の方々との交流の場、商工会の60周年を記念して寄贈いただいている広葉樹などの苗木の植樹場所。村の天然記念物であるチョウセンアカシジミの生息環境の整備など。

質問 建設計画時点から購入を考えていたのか。これは土地所有者からの打診で購入したのか。

災害復旧費

△単独災害復旧業務委託料 300万円増

△単独災害復旧工事請負費 2,000万円増

質問 今回の補正予算での災害復旧工事の場所はどこか。
回答 建設計画時点では隣接地の購入予定はなかった。購入についても土地所有者からの打診での購入ではない。

歳入

質問 ふるさと納税について、今年度は前年より寄付額が下がっているが、その原因は何か。新たな返礼品などは考えているか。
回答 人気の返礼品が日用品に切り替わっていることなどが要因である。最近では毛ガニが普代でも人気の返礼品となってきた。△物価高騰対応重点支援地

△物価高騰対応重点支援地

休養施設

方創生臨時交付金 688万円増

質問 運営について、毎年赤字補填をしているが、村の財政も厳しい中でどこまで補填していくのか。
回答 村内の経済・雇用の関係もあり、赤字を減らしながらの運営をしてきた。今までの分析や運営方法なども考えつつ、今後の検討をしていく。

質問 国からの推奨メニューが様々あり、それぞれの要件に従って計上している。
質問 元々無料としている給食費の財源などに計上しているが、もっと村民の利益になるような使い方はできないか。
回答 国からの推奨メニューが様々あり、それぞれの要件に従って計上している。

条例改正

○普代地区ふれあい公園設置条例の一部を改正する条例

質問 普代村ふれあい公園の管轄部署はどこか。また



太田名部ふれあい公園

太田名部ふれあい公園の利用状況は。
回答 所管は政策推進室である。太田名部ふれあい公園は令和8年4月1日からの供用開始予定であり、利用状況はまだ把握していない。

質問 地区にふさわしい、特色のある名称を公募したい。
回答 正式名称は「緑区ふれあい公園」、太田名部ふれあい公園であり、愛称などが必要かどうかは今後検討する。太田名部ふれあい公園は、今後街路灯が設置されて完了予定となる。

定例会で決まった議案

議案番号等	議案等	審議結果
議案第1号	令和7年度 普代村一般会計補正予算（第8号） 補正額 8,881万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を58億3,111万1千円とするもの。 人件費のほか、物価高対応子育て応援手当547万円皆増、豪雨災害にかかる単独災害復旧費2,300万円など緊急的な財政需要に対応するための増額が主なもの。	可決 (全員賛成)
議案第2号	令和7年度 普代村国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 補正額 82万円を追加し、歳入歳出予算の総額を4億2,537万9千円とするもの。 実績確定により、令和6年度保険給付費等交付金のうち超過交付分の返還。	
議案第3号	令和7年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第2号） 補正額 619万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億1,352万円とするもの。 内科診療施設：医師住宅建設工事設計委託料222万2千円皆増。歯科診療施設：医師住宅消耗品購入10万円、消防設備、公用車修繕料31万円、医療用機械器具等修繕料16万円増額など。	
議案第4号	令和7年度 普代村休養施設事業特別会計補正予算（第3号） 補正額 616万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億2,724万5千円とするもの。 修繕料（廊下及び階段タイルカーペット張替等）305万2千円の増額が主なもの。	
議案第5号	令和7年度 普代村簡易水道事業会計補正予算（第2号） 人件費の増額が主なもの。	
議案第6号	令和7年度 普代村下水道事業会計補正予算（第3号） 人件費の増額が主なもの。	
議案第7号	普代村議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 諸般の情勢に鑑み、普代村議会議員に支給する期末手当の支給割合を改定するもの。	
議案第8号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 諸般の情勢に鑑み、特別職の職員に支給する期末手当の支給割合を改定するもの。	
議案第9号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 岩手県の例に準じて、給料表、期末手当及び勤勉手当の支給割合、初任給調整手当、扶養手当、宿日直手当の支給限度額等について改正するもの。	
議案第10号	普代村会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例 諸般の情勢に鑑み、会計年度任用職員の期末手当及び勤勉手当の支給割合を改定するもの。	
議案第11号	普代地区ふれあい公園設置条例の一部を改正する条例 太田名部地区の新たな公園施設について、ふれあい公園として設置及び管理するため改正を行うもの。	

村民の皆さんにお知らせしたい 杵屋村長の行政報告 (12月定例会)



主要な工事の状況

普代村立普代学園建設工事は、現在、建築工事での基礎の杭打ちや、電気設備工事及び機械設備工事での配管等の位置出しなどが進められております。12月末での建築工事の進捗率は5.0%程度と見込まれております。

県道は、普代小屋瀬線卯子西地区道路舗装修繕工事は年内に完成予定となっております。

村道は、黒崎3号線道路改良（その2）工事と力持港線道路改良（その2）工事は完成となりました。村内舗装補修（旧国道2号線）工事は、着工に向けて用地調整に努めております。普代駅前8号線道路改良舗装（その2）工事、白井港線側溝整備工事、白井沢向線道路改良工事は12月中に、沢山線道路改良（その2）工事と萩牛川単独災害復旧工事は来年1月中旬に発注するよう取り進めます。

漁港は、太田名部漁港機能保全工事での普代南浜漁港の陸上工事が完成となっております。太田名部漁港の北防波堤などや堀内漁港機能保全工事は、引き続き3月中旬の完成を目指して施工中となっております。

太田名部地区漁業集落排水処理施設機能保全工事は完成しており、現在は、来年度以降の機器更新についての設計を進めております。

公共施設の空調と照明の改修工事は、沢向地区コミュニティーセンターと堀内地区漁村センターが11月末に完成しております。現在、高齢者活動施設が施工中となっております。12月中の完成予定であります。

歯科医師住宅建設工事は、11月上旬に完成しております。また、内科医師住宅については、来年度早々にも建設工事に着工できるよう、今回の補正予算に設計料を計上しております。

くろさき荘の運営状況

11月末での宿泊客数は3,608人（前年比81.9%、804人減）、事業収入は56,403千円（同90.4%、5,969千円減）となっております。宿泊では、トレイル利用が着実に伸びて（同147人増）おりますが、観光利用（同607人減）とビジネス利用（魚市場の工事関係など同295人減）の減による減収（4,250千円）と食堂・売店利用の減収（1,697千円）が大きく影響しております。また、営業収支でも人件費の大幅なアップや物価高騰の影響により、引き続き厳しい状況（同2,842千円の改善）が続いており、更なる増収への取り組みの徹底を期してまいります。

ふるさと納税の状況

11月末現在で358,002千円（前年同期比97%）となっております。10月からのポイント付与の廃止や止まらない物価高騰による返礼の人気の消費財へとシフトしていることなどにより、10月以降の寄付額が全国的な傾向としても伸び悩み状態にあります。それでも、本村においては、リピーターの方々などのご寄付により減少率が僅かとなっております。全国の皆さまに心からのお礼を申し上げますし、今後も、苦戦が予測されますが、問い合わせなどへの丁寧な対応に心がけながら、年末に向けての情報発信などにも努めつつ、目標額としている5億円にできるだけ近づこう取り組んでまいります。

鵜鳥神楽のユネスコ無形文化遺産

本村の鵜鳥神楽などの「神楽」が、令和7年度におけるユネスコ無形文化遺産への新規提案案件の一つに決定され、今後は来年の3月末までにユネスコ事務局への提案書の提出が行われ、令和10年11月頃に評価機関による勧告、翌12月頃に政府間委員会において審議がされる予定とお聞きしております。



村の新年交賀会が開催されました！

令和8年1月5日、国民宿舎くろさき荘にて村の新年交賀会が開催され、関係者約90名が出席する中で、新年の門出を祝いました。当日は、本村の観光大使でもあるタレントのなすび氏も参加していただき、「令和8年はもっと頻りに来村して、積極的に村のPRをしていきたい」との挨拶がありました。

村政を問う

村の議題を熱く議論！

12月定例会の一般質問には、3人が登壇し、村の課題などに対し、村当局の考えを問いました。

なか 中 がみ 上 かず 一 と 登 議員	1.自然と共生する環境づくりについて 2.介護保険事業の地域支援について 3.村の財政について	7ページ
さい 齊 とう 藤 まさ 正 あき 明 議員	1.廃校の利活用について 2.村道の安全管理について	8ページ
おお 大 かみ 上 さとし 智 議員	1.「第6次普代村総合発展計画」について 2.「小さな村だから可能な村づくり・経営」について	9ページ

一般質問とは、本議会で議員が、執行機関である村長などに対し、村政全般に関する事務の状況や将来の方針などについて問うものです。「一問一答方式」で行い、1人60分の制限時間内で質疑を繰り返します。一般質問は3月、6月、9月、12月の定例会に限り認められています。

里山の管理と熊被害の対策は

里山の管理推進と熊との遭遇リスクの軽減に努める 榎屋村長

自然と共生する環境づくり

質問 熊被害の危険防止と、民家や道路周辺の美化も兼ねる里山の管理について伺う。

答弁

榎屋村長

本村の熊の目撃は11月末現在34件（昨年13件）前年比3倍と急増している。被害対策としては、

- 1、個体数管理（鳥獣被害対策実施隊の育成・猟銃免許取得支援の継続）
- 2、侵入防止（電気柵設置支援の継続）
- 3、生息環境管理（野生動物の隠れ場所となるようなやぶ・下草の刈り払い、放置農作物・果樹の除去、村道・学校周辺の除草・伐採などに取り組み）

以上、3つの対策について、遭遇のリスクを避け、地域住民の安全を確保する。

里山の管理は、現在も予算化し実施しているが、今後地権者や業者と連携し

取り組む。

質問 緊急銃猟マニュアル作成の進捗状況は。

答弁

榎屋村長

改正鳥獣管理法により、一定条件下で市街地での緊急銃猟が可能になった。本村でもマニュアル作成に向け関係機関と情報交換を実施し、人身被害防止、迅速な対応、安全確保、関係機関と連携し、早期策定を目指す。

介護保険事業の地域支援

質問

介護保険事業の地域支援事業の1つとして開催している地域の交流サロンなどは、高齢者の方々の心身の健康維持の場となっている。そこで、地域の交流サロンについて、個々の実情に合わせた柔軟な補助の必要性について伺う。

答弁

榎屋村長

地域サロンは、高齢者が地域で気軽に集

村の財政

質問

最近、財政調整基金が枯渇するとして、事業の見直しやサービス廃止を検討する自治体があるとのこと。地方自治体の財政は「利益の最大化」ではなく、利益にならない部分を補い、住民サービスの向上を図ることが役目である。ところが政府は、黒字化しないと破綻するという報道がある一方、実際には30年以上単年度赤字であり、国債発行で埋めているが破産していない。地方自治体は、歳入を大きく増やせず、資金不足を補うために住民負担の増加か、歳出の削減しか選択肢がなく、

大きな黒字を出すことは自然だが、むやみに借入れもできないという、矛盾した状況に置かれている。そこで、普代村の財政は健全であるという分かりやすい根拠と、村の財政調整基金の捉え方を伺う。

答弁

榎屋村長

財政健全の定義は、

- ① 毎年の収入で支出・借金返済を賄えている
- ② 将来リスクに備える余力がある
- ③ 借金はあるが持続可能な水準であること。

村の財政状況は、「実質公債費比率」「将来負担比率」ともに健全で、財政調整基金残高は標準財政規模の97・98%（県内11位）である。5・5億円以上、できれば現在の10から11億円程度の基金水準維持を目指す。今後も歳入確保、歳出抑制、最小コストで最大効果を得られるよう徹底する。

中上一登





齊藤 正明

空き校舎の利活用は

総合的に検討を進める

榎屋村長

利活用対策への 取り組み

質問 令和9年度に新しく義務教育学校が開校されることになり、現在の小中学校は廃校予定だが、廃校後の方向性をどのように考えているか。

答弁 榎屋村長 令和8年度当初予算に空き校舎の利活用に

向けた調査研究費を計上し、空き校舎の利活用策の検討を進めていく。さらに、情報の共有を図りながら、令和8年度に方向付けができるように、取り組みの加速化に努める。

質問 廃校後の体育館を運動施設として再利用することを、活用方針の考えは。

答弁 榎屋村長 廃校後の体育館については、同じ運動施設でも、バレーボール専用体育館のように、団体に利用ターゲットを絞った利活用など、既存施設との機能の

すみ分けをしつつ、地域への波及効果も最大化するように、総合的に検討を進める。

質問 空き校舎等の利活用対策への取り組みとして、個別に基本方針を定めて利活用を進めていくべきと考えるがどうか。

答弁 榎屋村長 村では、令和3年度に、普代村公施設等

総合管理計画個別施設計画を策定し、期間中における施設ごとの対策の方向性及び適用の手続き、適用手法について、7つに分けて整備をしている。1つ目は長寿化、2つ目は集約化、3つ目は複合化、4つ目は用途転用、5つ目は廃止、6



廃校予定の普代小学校

的な行政運営に引き続き取り組む。

質問 本年、「海フェスタ」は、今年「海フェスタ」が中止となったが、多数の人で、賑わいを演出できる事業を数多く開催し、村民の元気・活力を維持すべきだと思いが。

答弁 榎屋村長 「はまゆりマラソン」は、30回以上開催しており、更なる新たな工夫を考える中での中止、「海フェスタ」は、漁業の動向

等配慮しての中止であったが、交流・つながりを生む「賑わいづくり事業」に、積極的に取り組んでまいり所存である。

小さな村だからこそ可能な村づくり経営

質問 村特有の、児童生徒が伸び、輝く、魅力体現教育の実践は。

答弁 三船教育長 普代村の目指す教育と学習の基本理念を、



大上 智

心の豊かさを 失わない取り組みは

住民主体の共助の場の活発化で

榎屋村長

第6次普代村総合 発展計画

質問 新計画書は、事業の見える化のため、出来るだけ具体的事業内容、必要性、事業効果を網羅したものを示すべきでは。

答弁 榎屋村長 新計画書は、出来るだけわかりやすく、村民と共同で実施でき、理解を得られる内容で作成する。

質問 近い将来を含めた、村の財政見通しは。

答弁 榎屋村長 新魚市場建設、義務教育学校建設に係る償還が始まることから、人口減少も相まって、向こう5年間は、これまで以上に厳しい財政状況になると予想している。村税やふるさと納税といった自主財源の確保に努め、事業の選択と集中、業務の効率化・簡素化を勧め、持続可能かつ安定

所の判断等、優先順位は。

答弁 榎屋村長 落石の原因も岩盤の風化や倒木等によるもの、浮石等が何らかの原因で落ちる場合など多岐にわたっている。原因を特定、または予測するのは非常に困難となる。すべて調査するのは難しいので、現状として落石の頻度等をしっかりと注視しながら対応していく。

質問 今後の危険性の把握、調査、応急対策も含めた落石防止対策は。

答弁 榎屋村長 落石の予測は非常に難しく、安全な交通を確保するには重要な課題であると認識をしている。落石のあった箇所への注意喚起や、防護柵等のハード面での整備等、総合的な対策をしていくとともに、パトロールの強化なども行い、予防活動も徹底推進していく。

質問 村民の高齢化が進んでいるが、「村民の心の豊かさを失わない取り組み」高齢化社会経営戦略は。

答弁 榎屋村長 高齢化の進展は、複合的な課題であり、多角的に持続可能な長期的取り組みが必要である。各地区の地域サロン活動等や、住民主体の共助の場の活発化で、地域コミュニティの形成がさらに拡げることが「心の豊かさづくり」にも資するという思いで、一緒に取り組んでまいりたい。



住民主体の地域サロン

月 日	場 所	事 項	出 席 者
19日	黒 崎	総務常任委員会黒崎地区サロン視察	嵯峨委員長、中上副委員長、齊藤、古沼委員
27日	盛岡市	岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員研修会・全員協議会・定例会	齊藤議員
12月8日	役 場	議会運営委員会	各委員、正副議長
		総務常任委員会	各委員
		議員全員協議会	各議員
		産業経済常任委員会	各委員

11/14 第9回臨時会

審議した案件は、令和7年度普代村一般会計補正予算、令和7年度普代村下水道事業会計補正予算の2議案を全員賛成で原案可決した。

◇令和7年度普代村一般会計補正予算（第7号）

補正額2,793万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を57億4,229万3千円とするもの。
歳出では、黒崎キャンプ場施設整備工事（経年劣化による設備撤去及び新設、テーブル5基、ベンチ10基、階段）726万5千円の増額、くろさき小規模多機能ホーム空調機更新工事（エアコン6台）264万円増額、道路維持費（修繕300万円・道路維持管理500万円・村道支障木伐採300万円・黒崎地区側溝改修工事500万円）1,600万円増額が主なもの。

◇令和7年度普代村下水道事業会計補正予算（第2号）

予算第6条に定めた一時借入金の限度額を5千万円に改めるもの。



くろさき荘が絶景部門1位に！

全国の温泉施設が参加する「温泉総選挙2025」にて、国民宿舎くろさき荘が、東北エリアの絶景部門1位に選出されました。

高台からのオーシャンビューが高評価を受け、大浴場からは水平線まで望む大海原の青と、「恋する灯台」に認定されている陸中黒崎灯台の白が視界の中で強調され、風呂につかりながらの非日常を体感できます。

風呂のみの利用も可能で、このニュースが報道されてから、初めて風呂を利用するお客様も増えているようですので、まだ利用したことのない方もこの機会にぜひ！

主な議会の動き

（9月定例会～12月定例会 諸報告より抜粋）

月 日	場 所	事 項	出 席 者
9月17日	役 場	令和7年第8回普代村議会定例会	各議員
		議会運営委員会	各委員、正副議長
18～19日	役 場	令和7年第8回普代村議会定例会	正副議長、金子、松葉、大上浩史、齊藤、中上、嵯峨、大上智議員
26日、28日	普代村内	ふだいまつり	正副議長
10月1日	役 場	議会広報常任委員会	各委員
10日	役 場	産業経済常任委員会	各委員
		議員全員協議会	各議員
		総務常任委員会	各委員
14日～16日	山口県	第74回全国漁港漁場大会	古沼副議長
18日	堀 内	総務常任委員会堀内地区サロン視察	各委員
19日	矢巾町	矢巾町秋まつり	正副議長、金子、中上議員
21日	九戸村	九戸村合併七十周年記念式典	古沼副議長
22日～24日	島根県	岩手県町村議会議長会政務調査会研修会	正路議長
22日	役 場	議会広報常任委員会	各委員
26日	東京都	ふるさと普代会	正副議長、金子、松葉、中上、大上智議員
30日	役 場	議会広報常任委員会	大上智委員長、松葉、古沼委員
11月7日	盛岡市	岩手県町村議会議長会町村議会広報担当者研修会	大上智委員長、齊藤副委員長、松葉委員
11日～12日	東京都	岩手県町村議会議長会政務調査会研修会並びに岩手県選出国会議員との懇談会、町村議会議長全国大会	正副議長
		議員全員協議会	正副議長、金子、松葉、大上浩史、齊藤、中上、森田、大上智議員
14日	役 場	議会運営委員会	中上委員長、森田副委員長、金子、松葉、大上浩史、齊藤、大上智委員、正副議長
		令和7年第9回普代村議会臨時会	正副議長、金子、松葉、大上浩史、齊藤、中上、森田、大上智議員
		総務常任委員会	中上副委員長、齊藤、古沼、大上浩史委員
		産業経済常任委員会	各委員

V O I C E
未来予想図 Fudai



帰ってきたい場所があるって、幸せ！

あかさか きくの
赤坂 菊乃さん (20)

岩手県立大学の盛岡短期大学部国際文化学科で異文化理解やコミュニケーションについて学んでいます。

人と関わることが好きなので、将来は人と関わりながら楽しくお仕事をしたいです。

普代村は人口が少ない村ではありますが、村全体の雰囲気は落ちることなく爽やかだと感じます。住んでいる方々がいきいきにこにこしているおかげだと思います♪

これからも帰ってきたいと思える普代村であり続けてほしいです😊



全員心が温かい普代村が大好きです！

ながや れんた
長谷 蓮太さん (20)

いまは宮城県で電気の勉強をしています。4月から電気工事士として働きます。生活に欠かせない電気を安定して、届けられるように頑張ります。

帰ってきた時に、おかえりと声をかけられて心が温まります。自然を満喫できて、遊ぶところが沢山あって楽しいです。

いつか仕事で普代の電気を支えられるようにしたいです😊

広報委員からの返信



古沼 和也 広報委員

菊乃さん二十歳おめでとうございます。

人口が少ない普代村ですが、皆さんが生き生きと元気に過ごせるように微力ながら頑張りますので、いつでも帰ってきてください。

短期大学部であれば今年卒業だと思いますので、是非とも普代に戻ってきて、普代に住みながら楽しくお仕事をしてもらえればとても嬉しいので、よろしくお祈りします。



大上 智 広報委員長

蓮太さん、4月から電気工事士として、社会人の第1歩を踏み出すこと、誠におめでとうございませう。

私達の生活において電気は重要なインフラでありますので、これからの活躍に大いに期待しております。

是非、多くの経験を積み、普代村の電気を支えてください。みんなで応援しています。

議長 発行責任者
副議長 正路 正敏
委員 大上 正敏
副委員 古松 和也
委員 齊藤 明
委員 大上 明智

議会広報常任委員会



大上 智
森田 幸一
嵯峨 典行
中上 一登
齊藤 正明
大上 浩史
松葉 明人
金子 泰男
古沼 和也
副議長 正路 正敏
議長 大上 智

謹んで新春の
お喜びを申し上げます
本年が普代村にとって
実り多き年と
なりますように
ご祈念いたします

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。
一緒に考えよう この村のカタチ。

